

## 第2回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

### 1. 開催日時・場所

令和3年8月2日(月) 14:00～16:30  
JR 東海品川ビル会議室

### 2. 出席者

立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員 小山 幸則(部会長) ほか8名  
(※WEB参加3名含む)

### 3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

### 4. 議事概要

#### (1) 泥水式シールドの施工管理(坂下西工区)

工事を安全に実施するための施工計画について事務局から以下の説明を行い、委員から助言を得た。

##### ・掘進管理

切羽の安定確保、排泥管の閉塞対策、掘削土の取込み量の管理、裏込め注入の管理を適切に行う。

適切な施工管理を行った上で、地上部の土地利用に支障が生じていないことを確認しながら工事を進めるために、シールド掘進時に地表面計測等を実施する。

##### ・亜炭採掘跡への対応

亜炭採掘跡が存在すると想定される区間(坂下非常口～神領非常口間のうちの約2.9km)において、既往文献や地表面からのボーリング調査で把握している空洞は、シールドトンネルから離れているため、シールド掘進による影響はないと考えられるが、シールド掘進時には弾性波探査およびボーリング探査を継続して実施しつつ、トンネル深度近傍に空洞がないことを確認しながら工事を進める。

##### ・まとめ

掘進開始後は、これらの施工管理を確実に実施していくとともに、施工状況をフィードバックし、部会等でご助言を仰ぎながら、安全に工事を進める。

#### (2) 今後の予定

東京外環道や神奈川東部方面線新横浜トンネルの陥没事故を受けた中央新幹線の泥水式シールドトンネルにおける安全・安心の取組みの説明会を、本部会での説明をもとに委員の助言を踏まえた内容で坂下西工区のある春日井市内において行うことについて、確認した。